

このコロナ禍の状況の中で、私自身が感じたことをお話ししたいと思います。今は、いつだれが感染してもおかしくない状況です。にも関わらず、感染した人が悪いとばかりに激しい誹謗・中傷が SNS 上でも溢れています。また、友人や知り合いに連絡を取り、感染場所探しや感染者捜しをしたりしています。何か情報が入れば、その情報が正しいのかどうかも分からないまま、真偽も確かめずに他の人に言い回る。感染した人の家に電話し『あなたの家から感染者が出たって本当？だれが感染したの？』とか『怖くて家の前を通れないから、早く家を消毒して。』などなど、人として本当にこれでいいのか？と思うことが日常的に起こっています。まるで、中世ヨーロッパで起こった魔女狩りのようだなと思うこともあります。感染者を捜している人には、誰が感染者かを知って、あなたはどうしたいのですか？と聞きたい。怖くて近くを通れない、と言う人には、コロナについて正しい知識を持ってください。感染した人が一番の被害者であり、その家族も凄く不安な日々を過ごしておられるのですよ。と言いたい。人口知能 AI の進化や宇宙開発の時代に突入しているなど、今日科学はめざましい発展を遂げています。それと同様に、人の心もそれだけ進化しているのでしょうか。もちろん凄く進化しているところも沢山ありますが、ほとんど進化していない部分もあるように思います。

辛い立場や苦しい状況にいる人、弱い立場にいる人たちは、どのような世の中になれば、楽しく過ごしやすいと感じることができるのでしょうか。誰もが住みやすい世界を作っていくためには、「おかしい」と気づく力を磨いていくことと、気づけば、その時その場で「おかしい」と言える勇気をつけていくことだと、このコロナ禍の中で改めて思いました。そして、このコロナ禍を乗り切るためには、『自己安全管理』です。感染予防や周りの人を守るために、一番必要なことは、憶測や風評に流されないことと、正しい知識を持つことです。まず、自分自身が感染しないよう気をつけましょう。そして、何か体調がおかしいと思ったら、すぐに病院に相談しましょう。その行動が自分の大切な人を守ることに繋がります。そして、身近な人や知っている人が感染してしまったら、感染者が一番の被害者であること、その家族の人たちの心配や不安に思う気持ちを十分理解して接することを実行して下さい。大切な人を守る、周りの人に思いやりを持って接する、これも『自己安全管理』なのです。

令和2年度1学期終業式式辞より一部抜粋